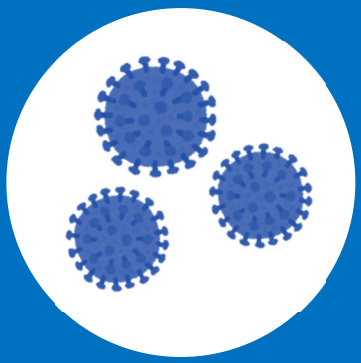
2021年度 熊本学園大学水俣学研究センター 第18期公開講座

新型コロナウイルス感染症に翻弄される暮らしと社会



私たちはどのような未来を選択しようとしているのか？

2020年3月のパンデミック宣言（WHO）から1年半、新型コロナウイルス（SARS-Cov-2）による未知の感染症（COVID-19）は、世界中に蔓延し(確認された感染者は1億9000万人を超え、死者は400万人を上回る：7月19日現在)、未だに終息への道筋は見えてこない。未知のウイルスは、変異を繰り返す中で感染力を高めつつあり、その起源、人への感染ルートの解明もなされない中で、社会的格差が拡大し、「貧困」の固定化が進行している。

昨秋に続く今年度の公開講座では、この1年あまりの間にあぶり出されてきた諸課題をみんなで確認・共有し、「今を生きる私たちに、また社会に求められているものは何か」についての議論を深め、人と人・生き物、そして健全な生態系全体とのつながりをより豊かにしていくための方策について、水俣・芦北地域から発信していきたい。

2021年 9月28日 から10月26日 の 毎週火曜日

午後6時30分～8時30分　会場：エコネットみなまた（水俣市南福寺60）

9/28　**新型コロナウイルス対策これまでとこれから**
和田 耕治　国際医療福祉大学医学部公衆衛生学　教授／厚生労働省専門家会議疫学班

10/5　**新型コロナ対策の疫学的検討**
緒方 剛　茨城県潮来保健所長／日本公衆衛生学会感染症対策委員

10/12　**政令指定都市の保健所での取組を振り返って**
高本 佳代子　宮崎県立看護大学 講師／元熊本市保健衛生部長 統括保健師
今だからこそ考えよう、持続可能でレジリエントな暮らしと社会
宮北 隆志　熊本学園大学社会福祉学部 教授

10/19　**熊本県の県型保健所におけるコロナ対応**
劔 陽子　菊池保健所長／県北広域本部保健環境福祉部長／菊池福祉事務所長

10/26　**感染症と人権―新型コロナウイルス感染症をめぐる差別―**
矢野 治世美　熊本学園大学社会福祉学部 准教授

＊新型コロナウイルスの感染状況によっては **講師が来場せずに遠隔で講演を行う**場合もあります
＊オンライン（ZOOM）での受講も可能です。希望者はお問い合わせください
＊受講はすべて無料です。会場での全講義受講者には修了証を発行します

お問い合わせ・お申し込み
水俣学現地研究センター 水俣市浜町2丁目 7-13
TEL 0966-63-5030　FAX　0966-83-8883
e-mail　m-genchi@kumagaku.ac.jp

主催：熊本学園大学 水俣学研究センター ／ 後援：水俣市・水俣市教育委員会